

2年生「生き方・世の中科」在日韓国・朝鮮人問題学習『聴き取り学習』

大阪朝鮮高級学校生徒会との交流学習

12月18日（水）の2・3時間目に在日韓国・朝鮮人問題学習として、大阪朝鮮高級学校の生徒会のみなさん（7名）に来校してもらい、聴き取り学習を行いました。

「どんな人たちが来るんだろう」とソワソワしていた子どもたちでしたが、始めるとすぐにその緊張も解け、真剣に高校生の話に耳を傾けている姿がありました。高校生の先輩たちも、時にはおもしろおかしく教室の空気を和ませながら、真剣に大正中の子どもたちと向き合ってくれていました。日本で生活していく中で、辛いことやしんどいこともたくさん経験してきたと思います。それでも、前を向いて、力強く、自分に誇りをもって生きている高校生たちの姿は、まさに学年目標でもある「カッコよく生きる」そのものであったと思います。



イムジン河の演奏をした実行委員も、「とても緊張したけど、一緒に歌ってくれて嬉しかった。終わってから拍手してもらえてよかった。」と練習した成果が出せて、達成感を感じているようでした。また、部落研メンバーを中心に、高校生に率直な疑問などを質問している姿もみられ、積極的な交流ができたように思います。



私自身、交流をしてみて、やっぱり「出会い」って大切なんだなあ実感しました。「百聞は一見にしかず」ということわざもありますが、実際に出会い、自分の目で見て、耳で聴いて、同じ空間で、(短時間ではありますが)一緒に過ごすことで、子どもたちの世界(考え方や見方)は広がったように思います。(もちろん子どもたちだけでなく、我々教員も)



聴き取り学習では、朝鮮高級学校の歴史や、そこでの生活のようす、生徒会の取り組みなど紹介してもらいました。また、そんな中で「チマチヨゴリの制服を着て学校に登校することができない(身を守るため)」「試合中に心無いヤジがとぶことがある」「冷やかな視線を感じることもある」といった実際の話も教えてもらいました。しかし、そんな中で自分や自分の歴史(ルーツ)を見つめ、自分に誇りを持って生きていくことやそういったことの大切さを子どもたちに丁寧に伝えてくれました。最後には、高校生から大正中の子どもたちへ、「どんな中学校生活を送ってほしいか」というメッセージも送ってくれました。※詳しくは同ホームページ「校長室より」をご覧ください。

真剣に大正中の子どもたちに語る高校生の姿を見て、「学ぶこと(知ること)の大切さ」「自分をつくっている歴史(ルーツ)も全てひっくりかえり背負う生き方の強さ、大切さ」を私自身も強く感じました。

引き続き、3学期も学習を進めていきます！！

文責：高砂